



菜の花で新庁舎をお祝い

「笹原住みよいまちづくりの会」が、新庁舎開庁を祝福して、菜の花畑を整備しました。会では、下野市の新たなスタートを多くの皆様に喜んでもらうため、園路の整備や除草に汗を流して整備しました。

新庁舎の展望デッキからは、黄色のきれいな菜の花が畑一面に広がる様子が見渡せ、来訪者を楽しませてくれました。



春の危険業務従事者叙勲

瑞宝双光章（警察功労）



大久保芳雄 氏

1964年に栃木県警に入り、矢板・小山署長を歴任し、2006年警察学校で校長として退職されました。

長年にわたり地域の安全に寄与されました。

復曲能「穴戸」を開催

下野薬師寺歴史館15周年

5月7日、開庁したばかりの庁舎「市民ロビー」にて、金春流 山中一馬師による、復曲能「穴戸」が行われ、約350人が幽玄の世界を堪能しました。

「穴戸」は、長年上演の記録がなく、詞章のみが伝わる下野国・薬師寺が舞台となる能で、下野薬師寺歴史館15周年を記念して、山中一馬師のご尽力により復曲されました。



新庁舎開庁式

5月6日、下野市役所新庁舎が開庁しました。平成18年1月に下野市が誕生し、10周年の記念の年に、災害に強く、明るいロビーに市民が集う新庁舎が完成しました。

これからは新庁舎を市民の交流の場として活用し、より良い下野市を市民の皆様と一緒に目指していきます。



絶滅危惧種トウサワトラノオが開花

絶滅危惧種トウサワトラノオが白く可憐な花をつけ、保全地いっぱいに咲き誇りました。

4月27日、下野市トウサワトラノオ保存会黒川英代会長が開花宣言を行い、ゴールデンウィークには見頃を迎えました。

絶滅危惧種トウサワトラノオは、地元東根自治会をはじめ、下野市トウサワトラノオ保存会、小山北桜高等学校・下野市自然に親しむ会等、市民協働により守られています。

